

50音順

4年A漢字「清」指導対象漢字語候補検討資料

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u
読み 赤字：基本語イ		表記 (異表記)	学年 配当	意味	類義・ 対義・ 関連の 語	語構成	品詞	語種	国字研 プリント	学習 論理 語イ 一覧	批判読 み 教育基 本語イ	児言研 教育基 本語イ	阪本 語イ表	幼児言 語	光村	教出	東書	学図	三省堂 例解小学 国語辞典	常用漢字 表 語例欄
(中)中学校段階指導音訓 (高)高校段階指導音訓		△表外訓 ×表外字 ●2010年追加	○常用漢 字 ○数字:配 当学年			赤字 並列語			赤字 該当語	赤字 該当 語	赤字 小学	赤字 小学	赤字 小I		赤字初出本文 黒字巻末付表など／緑字上学年 青字中学高校でふれるおもな語				赤字 重要語句	青字 当該欄の 語
1	きよい	清い		a			形	和語			小4論				清い心	清い水	清い流れ 清い心	清い流れ	清い	清い
2	きよまる	清まる		a			自五	和語							水が清まる	心が清まる	心が清まる 水が清まる	心が清まる	清まる	清まる
3	きよめ	清め		a			名	和語					小高I							清め
4	きよめる	清める		b			下一他	和語	身を 清める				小高I	体を清める	身を清める	身を清める はき清める	体を清める	清める	清める	清める
5	あらいきよめる	洗い清める	㊦	b		V+V														
6	はききよめる	掃き清める	○	b		V+V	下一他	和語					小高3×							
7	はらいきよめる	×被い清める		b		V+V	下一他	和語					中学3×							
8	きよらか	清らか		b			形動	和語					小高I		清らかな 流れ 清らかな はらはら と散った				清らか	清らかだ
9	けっせい	血清	㊦	a		血→清	名	漢語					小高3×						血清	
10	しみず	《清水》	小学校段階	a		清→水	名	和語					小高I		清水				《清水》	《清水》
11	しゆくせい	肅清	○	b	≠肅正	肅=清	名・ス他	漢語					中学2							肅清
12	しょう (高) じょう	清浄	○	a		清=浄	名	漢語					中学3○							

41	せいれん	清廉	○	a		清=廉	名・形動	漢語											清廉
42	せいれんけっぱく	清廉潔白	○⑤①	a	≒廉潔			漢語											

表のみかた

- a 50音順整理番号 原則として50音順にならべたが、合成語は、もとの語とならべた。
- b 読み 候補漢字語の読みをひらがなでしめし「見出し語」とした。
文部科学省が作成した「音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表」（2017年3月）で「高等学校段階で学習するのが適当と思われる音訓」とあるものに(高)とした。
- c 表記 候補漢字語の一般的な表記をしめした。
《 》は、常用漢字表の付表の語。（ ）は、異表記。
- d 学年配当 対応する漢字の学年配当を○数字でしめした。数字のない○は、小学校学習漢字外の常用漢字。
- e 意味 候補漢字語のおおまかな意味を下記のように2分した。2区分にふくまれないものは「*」とした。

意味区分

a	よごれがなくきれい。すきとおってきれいだ。	《水・空気》
	きよい。にごりがなくすんでいる。	《もの・状態》
	きよらか。けがれがない。心に、にごりがなくすんでいる。	《ひとの心》
	さわやかな。すがすがしい。さっぱりしている。	《心がさわやか》
b	きれいにする。きよめる。さっぱりさせる。きれいにととのえる。	
	きまりをつける。点検する。整理する。	

- f 類義・対義・関連の語 ≒類義の語, ⇔対義の語, *関連する語, ≠同音異義語。
- g 語構成 二字漢語の構成を記号でしめした。表作成者の見解で、並列語を「=」「⇔」とし赤字でしめした。また、修飾関係の語を「→」、補足関係・認定関係の語を「←」とした。
- h 品詞 『岩波国語辞典』第4版の品詞分類を用いた。
- i 語種 『新潮国語辞典』第2版の認定によった。
- j 国字研プリント 漢字指導法研究会の会員著作の『漢字プリント』（日本教育出版サービス刊,1994年）でつかわれている語を赤字でしめした。
- k 学習論理語イ一覧表 武部優子（漢字指導法研究会研究参与、啓明学園初等学校元校長）が1962年に作成した。論理的思考力をやしなうために、小・中学校のうちにぜひ指導しておきたいものとして、大久保忠利（1909-1990、漢字指導法研究会創立者）の提案をもとに論理語イを70語選定し、体系的に整理したもの。「清」をふくむ語は、このなかにはない。

- l 批判読み
教育基本語イ 見城慶和（漢字指導法研究会研究参与，元委員長）が1963年に作成した「教育基本語イ」のうち「清」をふくむ語の提示学年を赤字でしめた。『批判読み』（東京都教組荒川支部国語サークル編）に掲載。
- 小4論 小学校4年 論理性を確かにし感情の質を高めるもの**
- m 児言研
教育基本語イ 児童言語研究会が1962年に作成した「児言研国語科教育基本語い・第一次試案」に掲載されている語。小中学生が「所有していることによって、よりよく思考や認識を活動させる表現・通達することができる語を」えらび、「日常の使用で自然におぼえられる語い」等はおぼき、「系統的・体系的な国語教育が責任をもって教えなければならない重要な語を精選する」という観点から、総語数1955語をえらんでいる。それぞれの語を小学校と中学校のふたつの指導段階にわけ、それをさらにA（特に大切な語い）とB（A語に続くもの）のふたつにわけている。本検討資料では、**小学校段階の語を赤字**で、中学校段階の語を黒字でしめた。
- n 阪本語イ表 阪本一郎『教育基本語彙』（牧書店，1958年）および阪本一郎『新教育基本語彙』（学芸図書，1984年）に掲載されている語である。「義務教育の9年間に、国語の単語を、どのような範囲で、どのような順序で学習させるのがよいかの基準を示した」としている。総語数は、前者が22500語（公称）、後者が19271語で、小低（小学校第1～第3学年）、小高（小学校第4～第6学年）、中学（中学校）の3段階にわけ、さらにそれらに「1～4」の優先順位をつけている。なお、本検討資料では、「**小低1**」と「**小高1**」を赤字でしめた。また、前者にあった語のうち後者に掲載されていないものを「×」、前者になく、あらたに後者に掲載された語を「○」、後者で学校段階を下にさげた語を「↓」とした。なお、前者の作成には、15人程度の国語教育の実践者、研究者がたずさわっているが、そのうちのひとりが、のちに1980年代になって児童言語研究会委員長をつとめた松山市造（元・学習院初等科）で、松山市造は、1962年「児言研教育基本語イ」の作成にも参画し、このときの経験を生かしたという。さらに1980年代後期には、国字研責任班に属し、例会にもたびたび出席し、漢字精選と語イ表作成において「内言と表現通達に、それがなくてはかなわぬ語を選ぶこと」の重要性を指摘している。
- o p q r s 光村(光村図書出版)，教出(教育出版)，東書(東京書籍)，学図(学校図書)の各社2015年版第4学年教科書に掲載されている語のうち、本文が赤字で、巻末一覧表にあるものを黒字でしめた。また、上学年で提出されているおもな語を緑字でしめた。
- t 三省堂例解小学国語辞典 『三省堂例解小学国語辞典』（第6版）の見出し語にかかげられているものをしめた。そのうち同辞典編集者が「重要語句」と位置づけている語を本検討資料では、**赤字**でしめた。
- u 常用漢字表 語例欄 『常用漢字表』（2010年）の語例欄にかかげられている語をしめた。うち「清」の欄にあるものを青字でしめた。

「清」の字誌（抄）

音訓

		付表の語
1947年当用漢字音訓表	セイ・きよい	
1973年当用漢字改定音訓表	セイ・(ショウ)・きよい・きよまる・きよめる	清水
1981年常用漢字表	セイ・(ショウ)・きよい・きよまる・きよめる	清水
2010年常用漢字表	セイ・(ショウ)・きよい・きよまる・きよめる	清水

〔注〕(ショウ)は、各表とも1字下げでしめしている。「常用漢字表」は、1字下げで示した音訓は、「特別なものか、又は用法のごく狭いものである」としている。

2010年常用漢字表

漢字	音訓	例	備考
清	セイ ショウ きよい きよまる きよめる	清潔, 清算, 肅清 六根清浄 清い, 清らかだ 清まる 清める	清水 (しみず)

主な表外訓

さやか	△清か
さやぐ	△清ぐ
さやけし	△清けし
すがしい	△清しい
すがすがしい	△清△清しい
すがやか	△清やか
すまし	△清まし (澄まし)
すます	△清ます (澄ます)
とぎすます	研ぎ△清ます (研ぎ澄ます)
すむ	△清む (澄む)

学年別漢字配当表の学年配当

音訓の小・中・高等学校段階別割り振り表 (文部省/文部科学省)

小学校段階にわりふり

高等学校段階にわりふり

1958年	4年	セイ・きよ-い	
1968年	4年	セイ・きよ-い	
1977年	4年	セイ・きよ-い・きよ-まる・きよ-める	ショウ
1989年	4年	セイ・きよ-い・きよ-まる・きよ-める	ショウ
2017年	4年	セイ・きよ-い・きよ-まる・きよ-める	ショウ

漢字出現頻度表 順位対照表 (Ver.1.3)

凸版(3) 順位	漢字	種類	表外漢字 字体表	新聞調査 (朝日)	新聞調査 (読売)	ウェブ データA	凸版(3) 第2部	新聞常用 漢字等
486	清	常用		684	690	799	304	

文化審議会国語分科会漢字小委員会配布資料
(2008年5月12日)

いろいろな字形

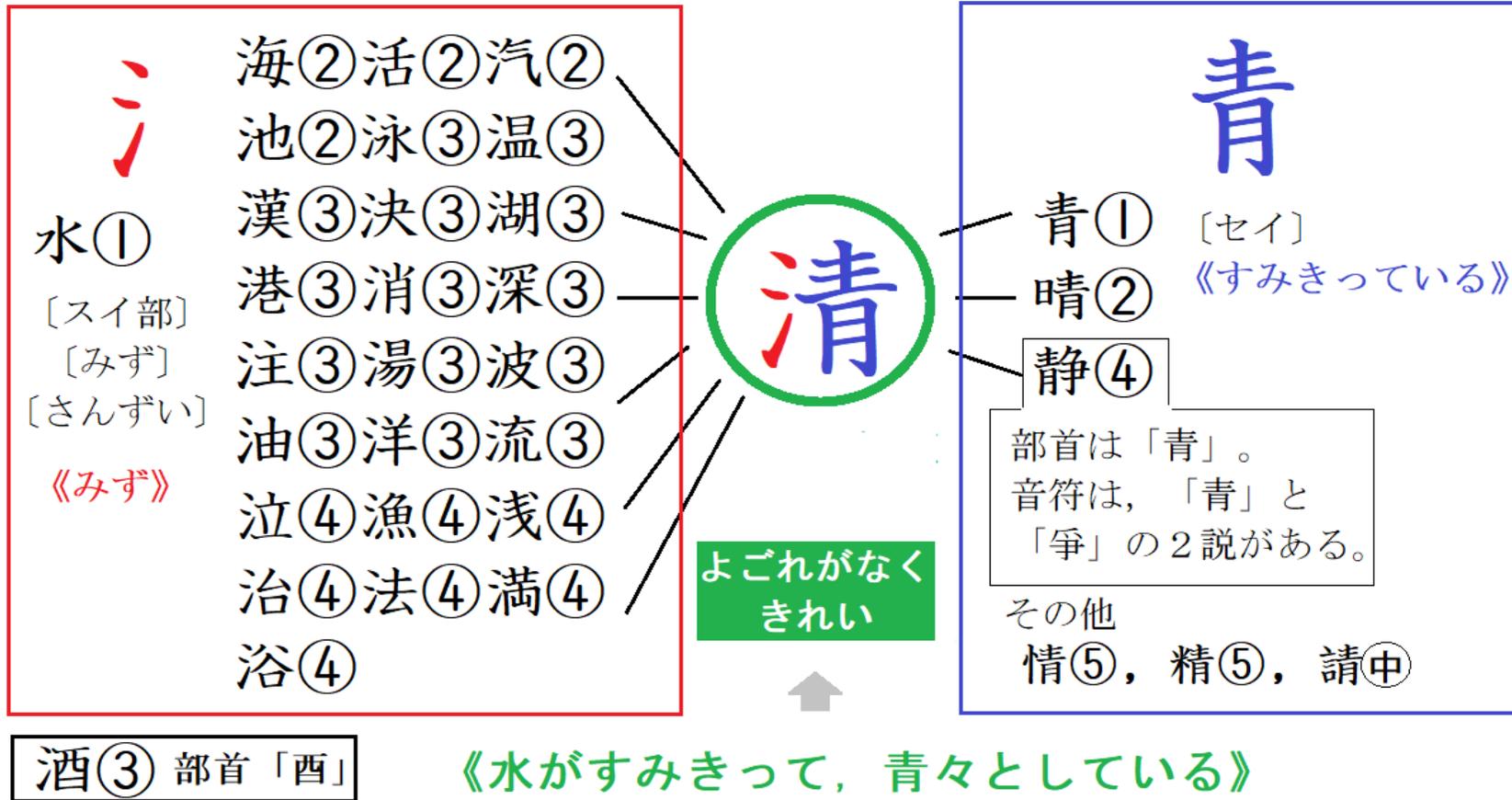


印刷文字の字形の例				手書き文字の字形の例
明朝体	ゴシック体	ユニバーサル デザインフォント	教科書体	
清	清	清	清	清清 など

『常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)』
文化審議会国語分科会(2016年2月29日)

字形の構成要素

構成要素をふくむおもな漢字(○数字は、配当学年)



字源



小篆の「清」

「清」は甲骨文字や金文にみられない。篆書以降によく出てくるので字源が比較的わかりやすい。

部首「水」(氵)と、音符「青」とからなる形声文字とする説で安定している。

「青」(青)の上部は「生」で《草がはえるさま》とみられている。下部の「月」(月)は、a《井戸のなかにきよらかな水があるすがた》、b《青色の染料・絵の具のもとになる青い「丹」を採取する井戸のかたち》などの説がある。いづれにしても「青」には《あお》《あおい》の意味があるという点では一致している。

意味の派生区分

日本語での漢字の意味

全体をつらぬく共通のイメージ **よごれがなくきれい**

水がすみきって
青々としている



a きよい
《水・空気》
《もの・状態》

すきとおってきれいだ。
液体や気体がすんでいる。
すんで、にごりがない。
よごれがない。
けがれがなく美しい。

清流 清水 [セイスイ・ショウズ・《しみず》] 清-濁
河清《常に濁っている黄河の水が清く澄むこと。望んでも実現しないことのたとえ》
清=澄 清=冽 清=浄 [せいじょう・しょうじょう]
血清《凝固した血液の上部に分離してできる淡黄色で透明な液体》
清い 清酒 清音

きよらか
《ひとの心》

よごれやにごりなどがなく、
すんでいて美しいさま。
人の性質・心情がすんでいる。
俗悪な心がない。欲がない。
相手をうやまうコトバ (敬意表現)

清=純
清=潔
清らか
清貧 清=廉 清き一票
清聴 清栄 (手紙文のあいさつの語)

さわやかな
《心がさわやか》

すがすがしい。
さっぱりしていて気分がいい。
まじりけがない。

清=涼
清楚 清新 清香
清まる 清め

b きれいにする

さっぱりさせる。
きよめる。
きれいにととのえる。

清=掃 清書 清記
清める 洗い清める・掃き清める・はらい清める

きまりをつける

点検する。整理する。

清算 肅清